

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	A-141	21-011 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b>		
<p>Drinking cultures and socioeconomic risk factors for alcohol and drug use disorders among first- and second-generation immigrants: A longitudinal analysis of Swedish population data</p> <p>移民一世および二世における飲酒文化とアルコールおよび薬物使用障害による社会経済的危険因子：スウェーデンの人口データを用いた縦断分析</p>		
<b>執筆者</b>		
Cook WK, Li X, Sundquist K, Kendler KS, Sundquist J, Karriker-Jaffe KJ.		
<b>掲載誌</b>		
Drug Alcohol Depend. 2021 Sep 1;226:108804. doi: 0.1016/j.drugalcdep.2021.108804.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
アルコール使用障害、薬物使用障害、移民、飲酒文化、健康の社会的決定要因		34216865
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b>スウェーデンへの移民における物質使用障害について、出身国の飲酒文化と社会経済的地位 (SES) に注目し、世代とどのように交差し、影響するかを検討した</p> <p><b>方法：</b>スウェーデンの複数の人口登録データを用い、64 か国からの 15 歳以上の第一世代移民 815,778 人と第二世代移民 674,757 人の 6 年間 (2010-2015 年) の縦断研究において、アルコール使用障害と薬物使用障害の発症を追跡調査した。Cox 回帰分析により、一世と比較した移民二世におけるアルコールおよび薬物使用障害のリスクを推定し、モデレーション分析により、世代と出身国一人当たりのアルコール消費量および SES との交互作用を評価した。</p> <p><b>結果：</b>アルコール消費量の多い国出身の移民一世と二世は、アルコールおよび薬物使用障害のリスクが高かった。SES の高い移民は、アルコールおよび薬物使用障害のリスクが低かった。世代と出身国のアルコール消費量との交互作用は、アルコール使用障害について有意であったが (出身国の飲酒レベルが高いほどリスクが高まる)、薬物使用障害は有意ではなかった。世代と SES の交互作用はアルコール使用障害で有意であり、低 SES の移民二世は、同等の SES の移民一世よりも明らかに高いリスクを示した。</p> <p><b>結論：</b>スウェーデンの移民のうち、移民二世は、特に出身国のアルコール消費量が多い場合や SES が低い場合、アルコールおよび薬物使用障害発症のリスクが高かった。移民社会におけるこれらの高リスクのサブグループに対する政策や地域社会の配慮が必要である。</p>		